

1 はじめに

- 1-1 めざす福山駅前の姿
“働く、住む、にぎわい”が一体となった福山駅前
- 1-2 市域一体、備後圏域全体の発展
 - ・市域全体の一体的で持続可能な発展
 - ・広域エリアへの波及

2 計画の目的

- 2-1 都市に求められる役割
- 2-2 SDGsにおける位置づけ
- 2-3 計画の目的、期間
- 2-4 計画策定のプロセス（使う人→計画）

3 エリア価値を高める戦略

- 3-1 福山駅周辺の現状と課題
- 3-2 福山駅周辺の再生がめざすもの
 - ・エリア価値を高める経済循環
- 3-3 将来の都市構造
- 3-4 ウォーカブルなまちづくり
 - ・居心地が良く歩きたくなるパブリック空間
 - ・多様な分野の施策との連携
 - ・空間を一体的に捉える
- 3-5 拠点とウォーカブルエリアの設定
- 3-6 ウォーカブルな駅周辺の実現プロセス
- 3-7 主要な歩行者・車両動線のイメージ
- 3-8 事業の実施プロセス

4 エリアビジョンとプロジェクト

- 4-1 4つのエリアビジョン
- 4-2 福山駅周辺のエリアビジョン
- 4-3 伏見町周辺のエリアビジョン
- 4-4 三之丸町周辺のエリアビジョン
- 4-5 中央公園周辺のエリアビジョン

5 プロジェクトを進めるための視点

- 5-1 官民連携
- 5-2 民間と行政の役割

6 資料

- 6-1 歩行空間・交差点・ウォーカブルなストリートのイメージ
- 6-2 福山駅周辺の整備イメージ
- 6-3 これまでの成果
- 6-4 これからの目標値

【現行】福山駅周辺エリアの価値を高める戦略

01 7つの戦略と取組

駅周辺のエリア価値を高めるため、福山駅前再生ビジョンに掲げる6つの柱に基づき、7つの戦略を立て、関連事業に取り組みます。

戦略1	戦略2	戦略3	戦略4	戦略5	戦略6	戦略7
新たな産業の創出 福山・備後圏域ならではのコンテンツを活用した都市型産業を集積させ、新たなシゴトや雇用を創出し、エリアの稼ぐ力を向上させる。圏域外へ流出している若者や女性、高度プロフェッショナル人材を惹きつけるビジネス環境を整備する。	QOL^{※6}を高めるライフスタイルの提供 空き店舗などを活用し、質の高いコンテンツを導入することで若者や女性を楽しめるおしゃれなまち並みを形成する。高次都市機能 ^{※7} に加え、日常生活に必要な施設やサービスが集積した便利で安心して暮らせる居住環境をつくる。	公共空間の活用と整備 官民連携による道路や公園などの公共空間や民間所有の空間を複合利用するなどの新たな活用により、居心地が良く歩いて楽しい空間を形成する。	民間事業者が活動しやすい環境づくり 規制の見直しや事業化に必要なファイナンスの仕組みをつくる。エリア価値を高めるまちづくりの視点を持ち、主体的に事業を行っていくエリアマネジメント組織を支援する。	再生に必要な人材の育成 遊休不動産などを活用した実践的なワークショップの開催など、まちづくりの推進に必要な人材を発掘・育成する。	官民の連携 市民や事業者、行政が連携してエリア価値を高める活動を推進する体制を構築する。公共空間などの更新や資産などの効率的・効果的な運用に民間の専門的なノウハウや技術を活用する。	地域インフォメーションデザイン^{※8}の構築 行政や民間が連携し、駅周辺だけでなく周辺地域も含めそれぞれの視点から新鮮な情報を常に発信できる人材の発掘や仕組みをつくる。

働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前

福山駅前再生ビジョン6つの柱	福山の伝統と柔軟なアイデアが出会うビジネスの拠点づくり	新しいライフスタイルの実現	福山城などを活用したにぎわいの創出	ヒト・モノ・カネの活発な交流を支える交通環境の充実	地域づくり・人づくり	戦略的な情報発信	
戦略	戦略1 新たな産業の創出	戦略2 QOLを高めるライフスタイルの提供	戦略3 公共空間の活用と整備	戦略4 民間事業者が活動しやすい環境づくり	戦略5 再生に必要な人材の育成	戦略6 官民の連携	戦略7 地域インフォメーションデザインの構築
	戦略5 再生に必要な人材の育成						
取組	i 都市型産業の集積	ICT, IoT, AI ^{※9} などを活用した次世代インフラの構築	福山城を始めとした歴史的な資産の活用	福山駅前へのアクセス性の向上	エリア価値を高めることができる人材の育成と仕組みづくり	福山市や備後圏域の地域資源の発掘と磨き上げ	
	ii イノベーションなどを生み出す好循環システムの構築	副業などの新しい働き方の推進	美術館や博物館、文学館などの活用	自動車や自転車の駐車場の適切な配置	外国籍の人が活動しやすい環境づくり	テーマやストーリーのある情報の発信	
	iii 副業などの新しい働き方の推進	交流機会の創出	ばらを生かした憩いの空間づくり	福山駅前と福山駅周辺の歩行者の回遊性の確保	防災性と持続性を備えた都市インフラの再構築	多様化する情報メディアへの対応	
	iv 若者や女性の就業・創業支援	市民の居場所づくり	市民参画による福山城公園や中央公園の活用	歩いて楽しい歩行空間の創出	エリアプロデュース ^{※10} とエリアマネジメント ^{※11} の推進	福山アンバサダーからの情報発信	
	v 遊休不動産を活用したビジネスモデルの構築	多様な手法を活用したまちづくり	観光客や買い物客など他都市からの集客の向上	レンタサイクルの拡充	未来の社会づくりに自ら取り組む人材の発掘と支援	多様な言語・ツールを活用した情報の発信	
	vi 福山らしいコンテンツの創出と集積	良質な住環境の整備	エリアプロデュースとエリアマネジメントの推進	道路規制の強化と緩和			

【更新】福山駅周辺エリアの価値を高める戦略

働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前

福山駅前再生ビジョン 6つの柱	福山の伝統と柔軟なアイデアが 出会うビジネスの拠点づくり	新しいライフスタイルの 実現	福山城などを活用した にぎわいの創出	ヒト・モノ・カネの活発な 交流を支える交通環境の充実	地域づくり 人づくり	戦略的な情報発信
取組	都市型産業の集積	ICT、IoT、AIなどを活用した 次世代インフラの構築	福山城を始めとした 歴史的な資産の活用	駅前広場を起点に <u>回遊できる動線の強化</u>	エリア価値を高めること ができる人材の育成と 仕組みづくり	<u>市民目線による 情報の発信</u>
	イノベーションなどを 生み出す好循環システムの 構築	新しい働き方の推進	美術館や博物館、文学館 などの活用	<u>自動運転など スマートモビリティによる 移動しやすい環境づくり</u>	外国籍の人が活動 しやすい環境づくり	<u>特定の層に向けた 効果的な情報の発信</u>
	新しい働き方の推進	交流機会の創出	ばらや緑を生かした 憩いの空間づくり	駐車場・駐輪場の 適切な配置	防災性と持続性を備えた 都市インフラの再構築	<u>斬新なトレンドを 生み出す活動の発信</u>
	若者や女性の就業・ 創業支援	市民の居場所づくり	市民参画による福山城 公園や中央公園の活用	<u>駅周辺から市全体への 周遊を促進する 公共交通の再構築</u>	エリアプロデュースと エリアマネジメントの推進	<u>体験を通じた情報発信</u>
	遊休不動産を活用した ビジネスモデルの構築	<u>グリーンインフラの 整備・活用による CO2削減</u>	観光客や買い物客など 他都市からの集客の向上		<u>コミュニティの再構築</u>	<u>地域資源を活用した 取組の発信</u>
	福山らしいコンテンツの 創出と集積		エリアプロデュースと エリアマネジメントの推進		<u>駅周辺と周辺地域の 取組・ノウハウの共有</u>	<u>駅周辺のイメージの構築</u>